



香港株式市場フラッシュ

中国ゼロコロナ政策と新型コロナワクチンの行方

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2022年7月13日号(7月13日作成)

“中国のゼロコロナ政策と新型コロナワクチンの行方”

中国の新型コロナ感染拡大に対するゼロコロナ政策が世界経済への大きな懸念材料となっている。上海市発表によると11日のコロナ新規感染が59人と4日連続で50人を上回り、オミクロン派生型「BA.5」も検出され、12-14日に大規模検査が実施される予定だ。また、マカオでは11日から1週間、事実上の都市封鎖に入り、地元経済を支えるカジノが全面的に営業停止となり、一部職種を除いて市民が自宅待機となった。それでも、中国の新規感染者数は今年2-3月のオミクロン変異株の感染拡大時と比較すると低水準にとどまっており、昨年までと異なり重症化リスクが高まらないことから経済再開に舵を切った諸外国との対策の違いが浮き彫りとなっている。

中国の科興控股生物技術(シノバック・バイオテック)製、および中国医薬集団(シノファーム)製といった国産ワクチンは死んだウイルスから作る「不活性化ワクチン」であり、複数の研究でも独ビオンテックや米モデルナの「m(メッセンジャー)RNAワクチン」など、より効果の高いワクチンの追加接種での免疫補強が推奨されている。

これに対し、習近平政権は外国製のワクチン導入を頑なに拒否している。中国の上海復星医薬集団[シャanghai・フオン・ファーマステイカル](2196/HK)が独ビオンテックに出資し、ビオンテックが米ファイザーと共同開発したmRNAワクチンの大中華圏への販売権を取得したものの、中国の監督当局は中国本土への認可を出していない。一方、香港とマカオ地区では昨年1月よりmRNAワクチンの販売が行われている。

“国営医薬品卸シノファーム・グループと民営の上海復星医薬”

国務院が管轄する中国医薬集団の傘下企業で香港市場に上場する国薬控股[シノファーム・グループ](1099/HK)は、中国全土に販路を有し、国内外メーカーの処方薬と一般薬を扱う。大型病院やドラッグストアと直接取引を行い、物流網も完備するほか、小売事業では「国大薬房」をチェーン展開(20年末で9千店舗近く)。21年通期業績は、売上高が前期比14%増の5210億元、営業利益が同11%増の197億元。22年度の予想配当利回りも12日終値で5.01%に上る。

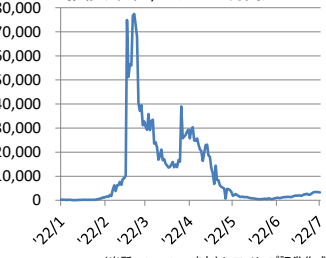
上述の通り大中華圏へのビオンテック/ファイザー製のワクチン販売権を有する上海復星医薬集団は、中国の民営コングロマリットの復星国際[フオン・インターナショナル](656/HK)の傘下企業であり、主に心血管系、消化器系、中枢神経系、抗感染症、抗癌・免疫治療の5分野の医薬品を製造。医薬品販売は国薬控股などに委託。21年通期業績は、売上高が前期比29%増の388億元、営業利益が同23%増の46億元。mRNAワクチンの近い将来の中国本土への認可が期待されよう。

新型コロナワクチン提供契約(Agreement)の今年6月まで開発企業ごと累計個数(除くオプション契約)

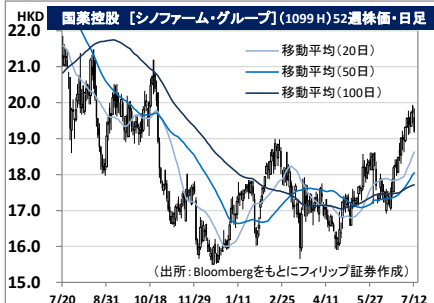
順位	新型コロナワクチン開発企業	提供契約個数(百万個)
1	米ファイザー/独ビオンテック	5793
2	米モデルナ	2073
3	英アストラゼネカ/英オックスフォード	1725
4	米ジョンソン・エンド・ジョンソン	1051
5	米ノババックス	935
6	中国シノバック	796
7	中国シノファーム	733
8	仏サノフィ/英GSK	732
	その他(注)	6588
	合計	20426

(注) 中国カンシノ・バイオロジカルズ145百万個を含む
(出所: ユニセフのウェブサイトで公表資料をもとにフィリップ証券作成)

中国の新型コロナ日次新規感染者数の推移(今年7/11まで6カ月間)



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全89銘柄)における終値の2021年末来騰落率

前回基準日: 20220628 基準日: 20220712

順位	2021年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位
1	中国海外発展 [ファイオーバーシーズランド&インベスト]	34.4 1
2	中国海洋石油 [CNOOC]	22.0 2
3	万洲国際 [WHグループ]	21.4 4
4	東方海外国際 [オリエンターシーズ]	19.4 5
5	理想汽車	17.4 3
6	長江実業集団 [CKアセット・ホールディングス]	17.0 10
7	中国銀行(香港) [BOCホンコン]	15.3 8
8	華潤置地 [チャイナ・リソースズランド]	14.4 15
9	Kuaishou Technology (快手)	11.7 6
10	中国中信 [シティック]	11.6 20

順位	2021年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位
87	SenseTime Group Inc (商湯集団)	-55.8 18
86	舜宇光学科技(集団) [サニーオプティカル・テクノロジー]	-54.5 89
85	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-49.7 84
84	ピリビリ	-47.7 87
83	創科実業 [テクトロニック・インダストリーズ]	-44.7 88
82	申洲国際集団控股 [シェンジョウインターナショナルG]	-44.3 86
81	華虹半導体 [ファホン・セミコンダクター]	-43.4 85
80	CG SERVICES (碧桂園服務)	-41.2 78
79	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-40.6 83
78	小鵬汽車	-39.1 82

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2022年7月の中国主要経済指標】

- 6月30日(木)
 - 6月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.6、結果50.2
 - 6月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回47.8、結果54.7
- 7月1日(金)
 - 6月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回48.1、結果51.7
- 7月5日(火)
 - 6月(財新)サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回41.4、結果54.5
- 7月7日(木)
 - 6月外貨準備高: 前回3.127兆USD、結果3.071兆USD
- 7月9日(土)
 - 6月消費者物価指数(CPI) <前年同月比>: 前回+2.1%、結果+2.5%
 - 6月生産者物価指数(PPI) <前年同月比>: 前回+6.4%、結果+6.1%
- 7月11日(月)
 - 6月資金調達総額: 前回2兆7,900億元、結果5兆1,700億元
 - 6月新規人民元建て融資: 前回1兆8,900億元、結果2兆8,100億元
 - 6月マネーサプライM2 <前年同月比>: 前回+11.1%、結果+11.4%
- 7月13日(水)
 - 6月貿易収支: 前回+787.6億USD、結果+768.0億USD
- 7月15日(金)
 - 6月小売売上高 <前年同月比>: 前回▲6.7%
 - 6月鉱工業生産 <前年同月比>: 前回+0.7%
 - 1-6月固定資産投資 <前年同月比>: 前回+6.2%
 - 1-6月不動産投資 <前年同月比>: 前回▲4.0%
 - 6月住宅販売金額 <前年同月比>: 前回▲34.5%
 - 6月新築住宅価格 <前月比>: 前回▲0.17%
- 7月20日(水)
 - 1年ローン・プライムレート: 前回3.70%
 - 5年ローン・プライムレート: 前回4.45%
- 7月27日(月)
 - 6月工業利益 <前年同月比>: 前回▲6.5%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。